

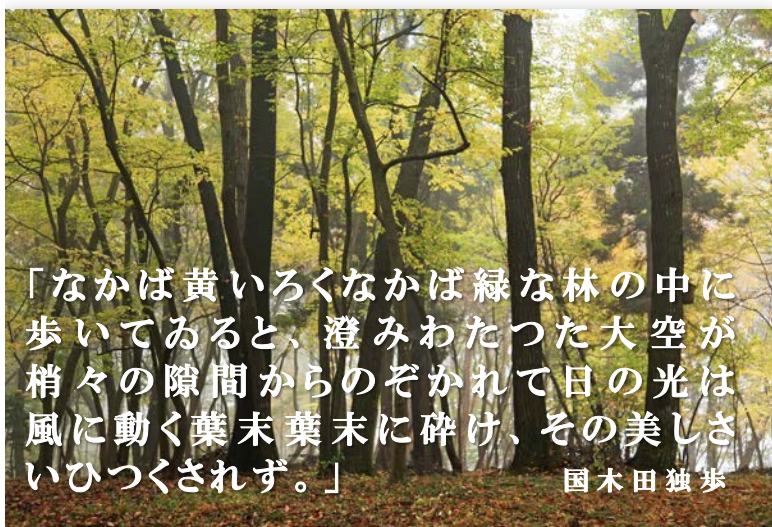
ドキュメンタリー映画 111分

「武蔵野」

～江戸の循環農業が息づく～



国木田独歩の『武蔵野』に描かれた武蔵野の雑木林の四季の美しさと、江戸時代からの循環農業の営みが続く奇跡を後世に伝え継ぎたい……ドキュメンタリー映画監督の原村政樹さんが、3年をかけて製作に取り組んだ映画『武蔵野』が2017年11月に完成しました！



「なかば黄いろくななかば緑な林の中に歩いてみると、澄みわたった大空が梢々の隙間からのぞかれて日の光は風に動く葉末葉末に碎け、その美しいひつくされず。」

国木田独歩

この地域（埼玉県川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町）の農家は雑木林（平地林）をヤマと呼び、「人間はヤマに生かされている」と言います。「人間も自然の一部である」。「先祖が残してくれた大切なものは変えてはならない」とも。変化が激しい現代にあって、変わらないことの大切さを教えてくれます。映画では、この地の伝統農法の神髄に迫り、効率重視の工業的価値とは対極にある「農」の深い精神文化を描いています。

※2017年3月、映画に登場する埼玉県武蔵野地域の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、日本農業遺産に認定されました。

■ 武蔵野地域上映会 ■

※上映後、監督舞台挨拶あり

●2018年3月17日(土) コピスみよし (三芳町文化会館)

埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100-1 電話：049-259-3211

■1回目：午前10時半～ ■2回目：午後2時半～ ■3回目：午後6時～（上映30分前開場）

料金：大人1,500円、大学生1,000円・中高校生800円、小学生300円

前売り券・1,200円→ 1月末から発売開始・映画「武蔵野」製作委員会へ（裏面へ）

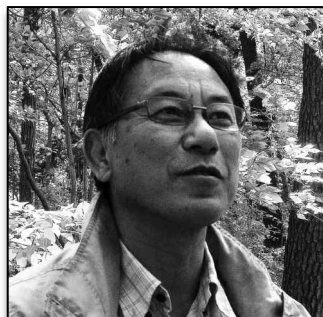
●2018年4月14日(土)～27日(金) 川越スカラ座上映決定！

上映時間等、詳しい情報は別途ご紹介します。

四季の美しさ、江戸の循環農業の妙、林を支える人々、農家の思い、家族の笑顔

ドキュメンタリー映画「武蔵野」

| 上映時間 111 分 | 監督：原村政樹 | 音楽：鈴木光男 | 語り：小林綾子 |



■原村政樹

1957 年 3 月生まれ。上智大学卒業後フリーの助監督としてドキュメンタリー・ジャパンなどで映像の仕事をする。1988 年桜映画社入社。以後、映画・TV 番組を監督製作。2006 年「いのち耕す人々」キネ旬第 4 位。2008 年「里山っ子たち」キネ旬第 3 位。2009 年「里山の学校」。2013 年「天に栄える村」キネ旬第 5 位。2013 年、NHK 新日本風土記「川越」製作。2015 年にフリーとなって製作に取り組んだ「無音の叫び声」の映画&書籍は、「2016 年 第 31 回農業ジャーナリスト賞」W受賞。約 40 年前から川越市在住。

.....映画『武蔵野』を推薦します！.....

■作家・村上 龍

人々は、心の底からの、しかも慎ましい笑顔を見せています。幸福、喜び、楽しさ、そんな言葉では表せない笑顔です。わたしたちが本来持っていた貴重で希少な「笑顔」に、この映画で出会うことができます。

■映画監督・高畑 勲

「農」をテーマに優れたドキュメンタリーを撮り続けてこられた原村政樹監督が、武蔵野の雑木林を現代に活用している農業の姿を記録し、四季折々の魅力を追い、「武蔵野」という作品に結実させました。

■宇宙物理学者・池内 了

自然と密着した暮らしそのものであり、それ以後失ってしまった永遠の憧れの営みで、多くの見えない部分の息遣いを感じることができた。そのような経験のないあなたにとっても、懐かしさを持って追体験するのではないだろうか。

■報道写真家・樋口健二

経済至上主義の時代にあっても伝統農法を護りつづけた姿が清々しく映し出される。大地に根を張って暮らす人々の生き生きとした生活感が未来を予感させる。なかでも若い農民たちが中心になり家族農業を護るという農哲学が感動を呼ぶ。



.....あなたの地域で自主上映会を企画しませんか！.....

※貸出料金 3 万円／1 日 <30 人まで。31 人目から+600 円／1 人> ※原村監督出演料は別途ご相談

映画「武蔵野」上映会開催申込書 FAX. 049-242-4811

お名前

住所 〒

電話

Fax.

E-mail

★上映予定日 年 月 日 ★上映予定場所

■映画「武蔵野」製作委員会 副会長・鈴木敏夫 事務局長・大沢克美

事務局：〒350-1133 川越市砂 846-3 Fax. 049-242-4811 E-mail: suzutoshi0620@nifty.com